

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2003-79591 (P2003-79591A)
 【公開日】平成 15 年 3 月 18 日 (2003.3.18)
 【出願番号】特願 2001-280229 (P2001-280229)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/0476

A 6 1 B 5/0205

A 6 1 B 5/044

G 0 9 G 5/00

G 0 9 G 5/14

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 2 4

G 0 9 G 5/00 5 1 0 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 X

G 0 9 G 5/14 A

A 6 1 B 5/02 C

A 6 1 B 5/04 3 1 4 H

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 24 日 (2005.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、

前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第 3 画面領域と、当該第 3 画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第 4 画面領域と、を有する脈波関連情報表示画面領域とを設け、

前記第 1 画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第 3 画面領域に表示される前記脈波波形と、を同期して表示させ、

前記第 2 画面領域に表示される前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示と、前記第 4 画面領域に表示される前記脈波波形の圧縮表示と、を同期して表示させることを特徴とする生体情報表示方法。

【請求項 2】

表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、

前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第 5 画面領域と、当該第 5 画面領域の時間経過側横に、リアルタ

イムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第6画面領域と、を有する心電図関連情報表示画面領域とを設け、

前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第5画面領域に表示される前記心電図波形と、を同期して表示させ、

前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第6画面領域に表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示とを同期して表示させることを特徴とする生体情報表示方法。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の生体情報表示方法において、

前記第2画面領域内でカーソルをクリックすることにより、クリックされた付近の前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示を、前記第2画面領域が表示されたウィンドウとは別のウィンドウに拡大D S A表示及び/又は拡大C S A表示として表示させることを特徴とする生体情報表示方法。

【請求項4】

脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び脈波関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、

当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と脈波関連情報表示手段とを有し、

前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第1画面表示手段と、当該第1画面表示手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示させる第2画面表示手段と、を有し、

前記脈波関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段によって表示された領域の時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第3画面表示手段と、当該第3画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第4画面表示手段と、を有し、

前記第1画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第3画面表示手段によって表示される前記脈波波形と、が同期して表示され、

前記第2画面表示手段によって表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第4画面表示手段によって表示される前記圧縮表示と、が同期して表示されてなることを特徴とする生体情報表示装置。

【請求項5】

脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び心電図関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、

当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と心電図関連情報表示手段とを有し、

前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第1画面表示手段と、当該第1画面表示手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示させる第2画面表示手段と、を有し、

前記心電図関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第5画面表示手段と、当該第5画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第6画面表示手段と、を有し、

前記第1画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第5画面表示手段によって表示される前記心電図波形と、が同期して表示され、

前記第2画面表示手段によって表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形

の C S A 表示と、前記第 6 画面表示手段によって表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示と、が同期して表示されてなることを特徴とする生体情報表示装置。

【請求項 6】

請求項 4 又は請求項 5 に記載の生体情報表示装置において、

前記第 2 画面表示手段によって表示される領域内でカーソルがクリックされることにより、クリックされた付近の前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示を、前記第 2 画面領域が表示されたウィンドウとは別のウィンドウに拡大 D S A 表示及び / 又は拡大 C S A 表示として表示する拡大画面表示手段を有することを特徴とする生体情報表示装置。

【請求項 7】

表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、

前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第 7 画面領域と、当該第 7 画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第 8 画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、

前記第 1 画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第 7 画面領域に表示される前記他の生体情報波形と、を同期して表示させ、

前記第 2 画面領域に表示される前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示と、前記第 8 画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする生体情報表示方法。

【請求項 8】

表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、

前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第 7 画面領域と、当該第 7 画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第 8 画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、

前記第 2 画面領域に表示される前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示と、前記第 8 画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする生体情報表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る生体情報表示方法は、請求項 1 に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第 3 画面領域と、当該第 3 画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示さ

れていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第4画面領域と、を有する脈波関連情報表示画面領域とを設け、前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第3画面領域に表示される前記脈波波形と、を同期して表示させ、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第4画面領域に表示される前記脈波波形の圧縮表示と、を同期して表示させることを特徴とする。

上記生体情報表示方法によって、脳波関連情報と脈波関連情報とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明に係る生体情報表示方法は、請求項2に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第5画面領域と、当該第5画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第6画面領域と、を有する心電図関連情報表示画面領域とを設け、前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第5画面領域に表示される前記心電図波形と、を同期して表示させ、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第6画面領域に表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示とを同期して表示させることを特徴とする。

上記生体情報表示方法によって、脳波関連情報と心電図関連情報とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係る生体情報表示装置は、請求項4に記載したように、脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び脈波関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と脈波関連情報表示手段とを有し、前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第1画面表示手段と、当該第1画面表示手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示させる第2画面表示手段と、を有し、前記脈波関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段によって表示された領域の時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第3画面表示手段と、当該第3画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第4画面表示手段と、を有し、前記第1画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第3画面表示手段によって表示される前記脈波波形と、が同期して表示され、前記第2画面表示手段によって表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第4画面表示手段によって表

示される前記圧縮表示と、が同期して表示されてなることを特徴とする。

上記生体情報表示装置の表示画面に、脳波関連情報と脈波関連情報とが同一の時間軸で表示されるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明に係る生体情報表示装置は、請求項5に記載したように、脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び心電図関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と心電図関連情報表示手段とを有し、前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第1画面表示手段と、当該第1画面表示手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、DSA表示又はCSA表示させる第2画面表示手段と、を有し、前記心電図関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第5画面表示手段と、当該第5画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第6画面表示手段と、を有し、前記第1画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第5画面表示手段によって表示される前記心電図波形と、が同期して表示され、前記第2画面表示手段によって表示される前記脳波波形のDSA表示又は前記脳波波形のCSA表示と、前記第6画面表示手段によって表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示と、が同期して表示されてなることを特徴とする。

上記生体情報表示装置の表示画面に、脳波関連情報と心電図関連情報とが同一の時間軸で表示されるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明に係る生体情報表示方法は、請求項7に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、DSA表示又はCSA表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第7画面領域と、当該第7画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第8画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第7画面領域に表示される前記他の生体情報波形と、を同期して表示させ、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のDSA表示又は前記脳波波形のCSA表示と、前記第8画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする。

また、本発明に係る生体情報表示方法は、請求項8に記載したように、表示画面に、時

間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第7画面領域と、当該第7画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第8画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第8画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする。

上記請求項7又は請求項8に記載した生体情報表示方法によって、脳波関連情報と他の生体情報波形とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

そして、各波形の表示の略中央部分に示した仮想的な画面分割線（画面には表示されない）の右側は、右端（現時刻）から画面分割線に向かって時間を遡るように、リアルタイムに時間経過順に表示されている（図2における第1画面領域15，第3画面領域17，第5画面領域19に相当）。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

【発明の効果】

以上詳記したように、本発明によれば、請求項1に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第3画面領域と、当該第3画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第4画面領域と、を有する脈波関連情報表示画面領域とを設け、前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第3画面領域に表示される前記脈波波形と、を同期して表示させ、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第4画面領域に表示される前記脈波波形の圧縮表示と、を同期して表示させることで、脳波関連情報と脈波関連情報とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる生体情報表示方法を提供することができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

また、本発明によれば、請求項 2 に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第 1 画面領域と、当該第 1 画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示する第 2 画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第 5 画面領域と、当該第 5 画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第 6 画面領域と、を有する心電図関連情報表示画面領域とを設け、前記第 1 画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第 5 画面領域に表示される前記心電図波形と、を同期して表示させ、前記第 2 画面領域に表示される前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示と、前記第 6 画面領域に表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示とを同期して表示させることで、脳波関連情報と心電図関連情報とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる生体情報表示方法を提供することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

本発明によれば、請求項 4 に記載したように、脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び脈波関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と脈波関連情報表示手段とを有し、前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第 1 画面表示手段と、当該第 1 画面表示手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A 表示又は C S A 表示させる第 2 画面表示手段と、を有し、前記脈波関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段によって表示された領域の時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで脈波波形を表示する第 3 画面表示手段と、当該第 3 画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記脈波波形を逐次、圧縮表示する第 4 画面表示手段と、を有し、前記第 1 画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第 3 画面表示手段によって表示される前記脈波波形と、が同期して表示され、前記第 2 画面表示手段によって表示される前記脳波波形の D S A 表示又は前記脳波波形の C S A 表示と、前記第 4 画面表示手段によって表示される前記圧縮表示と、が同期して表示されてなることで、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる生体情報表示装置を提供することができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

また、本発明によれば、請求項 5 に記載したように、脳波を検出するための脳波電極と、脈波を検出するための脈波センサとを有し、前記脳波電極及び前記脈波センサにより検出された生体信号を脳波関連情報及び心電図関連情報として表示画面に表示させる生体情報表示装置であって、当該表示画面に生体情報を表示させるための脳波関連情報表示手段と心電図関連情報表示手段とを有し、前記脳波関連情報表示手段は、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示させる第 1 画面表示手段と、当該第 1 画面表示

手段によって表示された領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示させる第2画面表示手段と、を有し、前記心電図関連情報表示手段は、前記脳波関連情報表示手段での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで心電図波形を表示する第5画面表示手段と、当該第5画面表示手段によって表示された領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記心電図波形から逐次求められる心電図波形関連情報をトレンド表示する第6画面表示手段と、を有し、前記第1画面表示手段によって表示される前記脳波波形と、前記第5画面表示手段によって表示される前記心電図波形と、が同期して表示され、前記第2画面表示手段によって表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第6画面表示手段によって表示される前記心電図波形関連情報のトレンド表示と、が同期して表示されてなることで、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる生体情報表示装置を提供することができる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

また、本発明によれば、請求項7に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第7画面領域と、当該第7画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第8画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、前記第1画面領域に表示される前記脳波波形と、前記第7画面領域に表示される前記他の生体情報波形と、を同期して表示させ、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第8画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする。

。

また、請求項8に記載したように、表示画面に、時間経過方向を横向きにして、リアルタイムで脳波波形を表示する第1画面領域と、当該第1画面領域の時間経過側の横に、リアルタイムで表示されていた前記脳波波形を逐次、D S A表示又はC S A表示する第2画面領域と、を有する脳波関連情報表示画面領域と、前記脳波関連情報表示画面領域での時間経過方向と同じくして、横向きにリアルタイムで他の生体情報波形を表示する第7画面領域と、当該第7画面領域の時間経過側横に、リアルタイムで表示されていた前記他の生体情報波形を逐次圧縮表示し又は前記他の生体情報波形に関連する情報を表示する第8画面領域と、を有する生体情報表示画面領域とを設け、前記第2画面領域に表示される前記脳波波形のD S A表示又は前記脳波波形のC S A表示と、前記第8画面領域に表示される前記他の生体情報波形の圧縮表示又は前記他の生体情報波形に関連する情報と、を同期して表示させることを特徴とする。

これにより、脳波関連情報と他の生体情報波形とを同一の時間軸で表示できるので、生体信号の変化の時間関係を一目で把握でき、患者の容態変化の原因をよりの確に診断することに資することができる生体情報表示方法を提供することができる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

